

ORACLE MANAGED FILE TRANSFER

企業向けファイル交換ソリューション

高速で柔軟

大容量ファイルの処理

おもな機能

- エンド・ツー・エンドの監査、制御およびレポート機能
- 組み込みのセキュリティ、ID 管理、LDAP および PGP 暗号化機能
- 圧縮、スケジューリング、全面的に拡張可能なファイル処理フレームワーク
- クラウド対応の軽量な Web デザインと管理用ユーザー・インタフェース
- 幅広いエンドポイント・サポート：埋込み SSH、FTP、ファイル、SOAP
- Oracle SOA および Oracle B2B との優れた統合性
- 可用性が高く、DMZ へのリバース・プロキシを含むクラスタ化が可能

おもな利点

- エンド・ツー・エンドのセキュリティでファイルを保護
- 技術系以外のスタッフでも簡単に使用可能
- ファイルの監査と再送信が可能
- システム統合、コスト削減、マルチ・プラットフォーム
- 規制の遵守が容易
- パートナー・プロビジョニングが容易
- 大容量ファイルにクラウドを採用可能

機動的でイベント指向になった今日のビジネス環境においてさえ、統合戦略の中心事項として必ずあがってくるのが、あらゆるサイズのドキュメントの効率的な転送です。多種多様なパートナー・ポイント・ソリューションを、業務仕様の Oracle Managed File Transfer のデプロイメント 1 つで統合すれば、時間と経費の節約になり、パートナーの研修に要する時間が最小化されます。ファイルのサイズと容量が特にクラウドで増加していることから、ビジネス要件および規制要件に適合する監査、再実行、セキュリティを実施するには、ファイルに特殊な処理を施すことが必要になります。Oracle Managed File Transfer を Oracle WebLogic Server、Oracle SOA Suite および Oracle Identity Manager と統合することで、インストール、構成、デプロイメントが容易になります。


概要



社内の部門や外部のパートナーとのセキュアなファイル交換および管理を可能にするのが Oracle Managed File Transfer (Oracle MFT) です。Oracle MFT が導入されていれば、セキュリティ保護されていないファイルへ不用意にアクセスしてしまう事態を、ファイル転送の開始から完了までのあらゆる段階で防ぐことができます。Oracle MFT は技術系以外のスタッフでも簡単に使用できるため、ファイル転送の管理にあてられる人員が増加します。豊富なレポート機能を活用すれば、ファイル転送のステータスをすばやく取得し、必要に応じて再送信できます。DMZ 内のデータは SSH/FTP リバース・プロキシを使用して保護できます。

社内のビジネス・プロセスと IT の整合化

パートナー企業の機密ファイルを紛失または外部に漏らしてしまった場合に、ビジネスへの影響が見込まれますか。

- **Oracle Managed File Transfer** は標準で PGP による暗号化/復号化をサポートしているため、暗号化されているデータのみシステムに取り込むようにするといったビジネス上のベスト・プラクティスを実現できます。
- 通知をカスタマイズし、こうしたセキュリティ上のビジネス要件が適用されていないことをユーザーに通知できます。

 **Target Pre-processing**

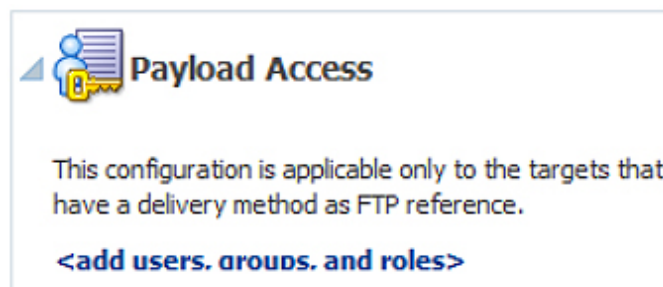
Name	Status	Creation Time
 PGP_Encryption	Processed	Dec 6, 2013 5:41 PM
 Compress	Processed	Dec 6, 2013 5:41 PM

画像 1：アクションの処理状況

大容量ファイルがシステム上に滞り、重要なビジネス・プロセスが遅くなる場合がありますか。

- **Oracle Managed File Transfer** では、大容量ファイルは最適なタイミングで動的に処理されるため、ファイルの受信を要求したシステムまたは担当者だけがファイルにアクセスできます。

- 組込みのエンタープライズ・スケジューラを標準設定のまま使用すれば、外部システムで必要になるまで **Oracle MFT** のファイル・リポジトリにファイルを保持しておくことができます。
- リソースを解放するために、必要に応じてファイル転送を一時停止して再開できます。
- ファイルのアーカイブや消去を実行するユーティリティが用意されているため、文書の保存に関する法令を遵守しながらファイル・リポジトリの使用を最適化できます。
- **Oracle MFT** のファイル・リポジトリで参照されるファイルは、デザイナーで定義した資格証明に基づいて自動的に保護されます。



画像 2：あらゆるペイロードの対外的な保護

関連製品

Oracle MFT は、統合性が高く、高速で使いやすいファイル転送ソリューションにより Oracle Fusion Middleware プラットフォームを補完します。次に示す製品をはじめ、ほぼすべての Oracle FMW 製品でセキュアなファイル送受信が行われます。

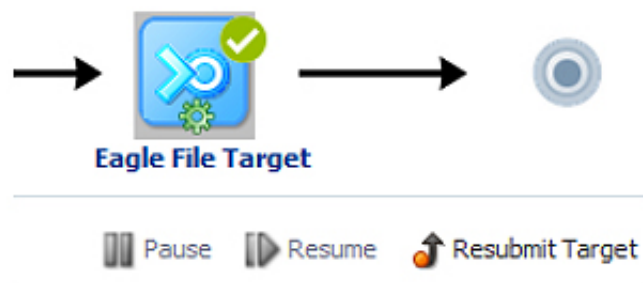
- Oracle SOA Suite
- Oracle Service Bus
- Oracle B2B
- Oracle HealthCare for SOA
- Oracle BPM
- Oracle Data Integrator
- Oracle WebCenter

関連サービス

- Oracle Public Cloud
- Oracle Private Cloud
- Oracle Software as a Service
- Oracle Platform as a Service
- Oracle Java Cloud Service

現行の MFT ソリューションではファイルの紛失や破損がたびたび発生しますか。

- **Oracle Managed File Transfer** の **File Finder** を使用すれば、ファイル名、ファイル・サイズ、パートナー、エンドポイント、ステータス、日付、送信側のユーザー名またはプロトコルの種類でファイル転送を検索できます。
- 複数のファイルに個別のページ・スクリプトを使用し、ファイル自体が削除またはアーカイブされた後でもパートナー企業の重要ファイルのステータスをいつでも特定できることが実質的に保証された監査データをレポートします。
- ファイルの再送信は転送のどの段階からでもできるため、障害や新規要件に基づいて特殊なファイル処理を調整したり、修正したりできます。

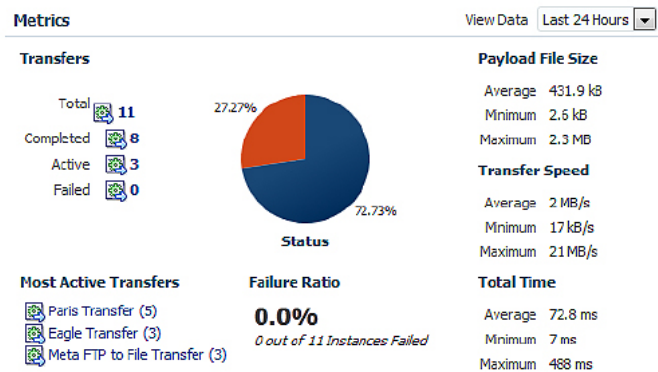


画像 3：紛失したファイルの再送信

もっともリソースを使用している部門、パートナー、転送がどれかを追跡できますか。

- **Oracle Managed File Transfer** には概要レベルと詳細レベルの多様なダッシュボード・メトリックが標準で用意されているため、インバウンド・パートナー、転送およびアウトバウンド・エンドポイントについて、ファイル・サイズ、ファイル容量および経過時間を追跡できます。
- ソース・エンドポイントまたはターゲット・エンドポイントに関する詳細レポートを見ることで、重要なパートナーのファイル・ステータスを能動的に監視できます。

Dashboard



画像 4：視覚的に表示されるパフォーマンス・メトリック

- ターゲット・ファイルの配信状況が **Active Deliveries** 領域にはほぼリアルタイムで表示され、ファイル名をクリックするとフロー・レポートが表示されます。

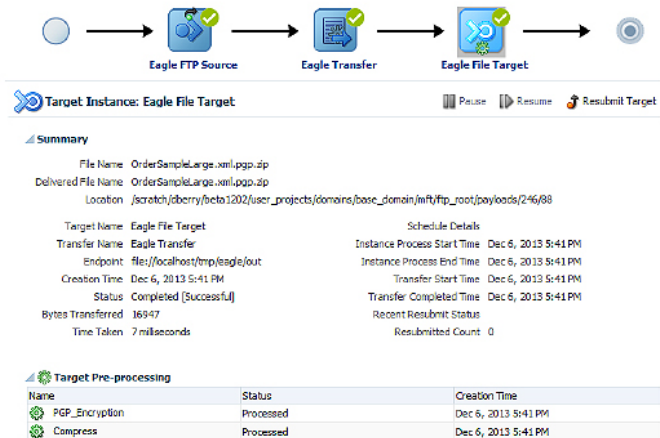
Active Deliveries Refresh Every 5 Seconds

Name	Start Time	Progress
SOA Target	1/14/2014 ...	Completed [Successful] 0 mins ago
Meta File T...	1/14/2014 ...	Completed [Successful] 0 mins ago
SOA Target	1/14/2014 ...	Completed [Successful] 0 mins ago
Meta File T...	1/14/2014 ...	Completed [Successful] 0 mins ago

画像 5：最新のファイル配信ステータス

ファイル転送に関する問題を既存のツールで診断するのが困難ですか。

- **Recent Errors** という監視ページを使用すると、日付、エラーID、名前、説明または転送の種類でエラーを検索して診断できます。
- エンド・ツー・エンドの転送フロー・レポートには、各転送についての詳細な情報が表示されます。表示項目には、ファイル名、パートナー名、エンドポイント名、転送ステータス、圧縮、暗号化などがあります。

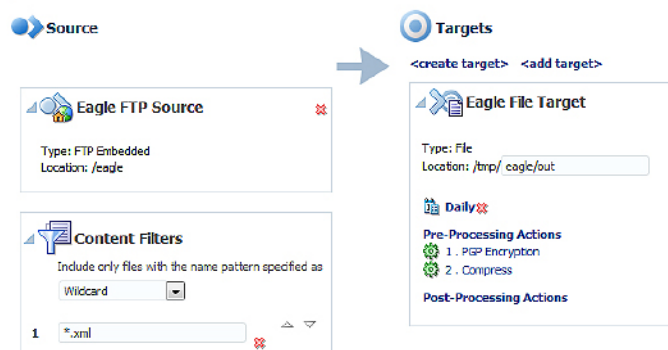


画像 6：エンド・ツー・エンドの転送フロー・レポート

ファイル転送の構築、監視および保守ができる人員数に制約がありますか。

- **Web** ベースのデザイナーは理解する必要のある概念が非常に少ないこともあり、とても簡単に使用できます。
- デプロイメント・モデルは非常に単純で、新規または更新したソリューションをデプロイするときには依存性を視覚的に把握できます。
- 別の環境でのデプロイメント用に、プロジェクトを簡単にエクスポート/インポートできます。

Transfer Definitions



画像 7：最新式の Web デザイナー

まとめ

Oracle Managed File Transfer は、ファイル転送の管理、監視およびセキュリティ保護を簡単にできるようにすることを目的に、一から設計されています。埋込みの FTP サーバーと Secure FTP サーバーは、Oracle WebLogic Server の標準のセキュリティ・ロール、ユーザーおよびグループを使用して保護されます。Oracle SOA Suite および Oracle B2B とのシームレスな統合によりビジネス・プロセスが拡張され、より複雑なオーケストレーションや変換のユースケースに Oracle MFT を活用できます。

プラットフォームおよび要件

- ドキュメント、動作保証済みプラットフォーム、ダウンロードおよびチュートリアルなど、**Oracle MFT** について詳しくは、**Oracle Technology Network (OTN)** の [Oracle Managed File Transfer のページ](#)をご覧ください。

お問い合わせ先

Oracle WebCenter Sites について詳しくは、oracle.com を参照するか、+1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問い合わせください。



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

Copyright © 2014, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、記載内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含め、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。0113

Hardware and Software, Engineered to Work Together

ORACLE®